

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和3年7月15日（木）10：00～

場所 白石市防災センター2階 大会議室

1. 白石市すまいるキッズアンバサダー就任式
2. オリンピック記念物品等寄附受納式
3. ベラルーシ新体操ナショナルチーム事前合宿について
4. 白石市学校施設等安全点検講習会について

【記者会見の動画配信について】

記者会見の様子を記者会見終了後に動画配信させていただきます。
記者の皆さまもご理解願います。

白 石 市

「白石市すま^いるキッズアンバサダー」の就任式について

1 アンバサダー委嘱者名

あそびうたアーティスト「あきらちゃん」 たかはし あきら 氏

2 委嘱の趣旨

本市の子どもたちの健やかな成長を願い、積極的な子育て支援を目的に、本市の魅力及び子育てに関する情報のPRを行い、本市を元気にし、親子の笑顔があふれるように「白石市すま^いるキッズアンバサダー」を設置し、活動をお願いすることとなりました。

たかはしあきら氏は、子育て中の保護者や子どもたちのアイドル的存在として「あきらちゃん」の愛称で親しまれ、長年に渡り数多くの親子あそびうたコンサートを全国で開催するなど大活躍されている方です。今年4月からこじゅうろうキッズランドの施設長に着任されました。

2008年に本市の地域ブランド「白石三白」の一つ「白石温麺」を題材にした、市内の子どもたちの誰もが歌って踊れる楽曲「白石うーめん体操」を作詞・作曲されたことがきっかけで、本市でのコンサートを継続して開催いただきました。このご縁から、2013年に「温麺のPRのために」と奥州白石温麺協同組合によってCD化が実現し、動画は昨年にはリニューアルもされてYouTubeでも大人気となっています。

たかはし氏は、施設長着任後も全国での公演を開催するなど活躍を続けており、ブログやYouTubeあきらチャンネル等を通じて、本市について積極的な情報発信を行っていただいております。

この度、たかはし氏の人気と知名度を活かした活動によって、本市が元気と笑顔があふれるまちとなることと、本市の子育て支援の在り方の発信、多世代の交流の場として農商工連携を核とした賑わい交流拠点「しろいし Sun Park」全体のPRにつながることを期待できることから、アンバサダーを委嘱するものです。

3 活動内容

- (1) 本市の魅力及び子育てに関する情報のPR活動
- (2) 本市の子育て支援事業等の情報発信に対する意見又は提言
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める活動

4 委嘱期間

令和3年7月15日から令和5年7月14日まで

麻生菜穂美 様「オリンピック記念物品等」の寄附受納について

担当：まちづくり推進課

今回のご寄附は、白石市歴史文化アドバイザーの麻生菜穂美 様 が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における市民の機運醸成を図るとともに、白石の子ども達に夢を持ってもらうきっかけになればとの思いから、「オリンピック記念物品等」を多数ご寄附いただくものです。寄附物件は、麻生様が深く関わられた長野オリンピック関連のものや、国際オリンピック委員会（IOC）在職中に、IOC事務局長の許可を得て特別に購入したものなど、非売品で希少なものが多くあります。

また、本日より、寄附物件の一部をホワイトキューブにて展示いたします。

●寄附物件

オリンピック記念品等 794点

●オリンピック記念物品展示会

場 所：白石市文化体育活動センター（ホワイトキューブ）東口付近

公開日：7月15日（木）～

公開点数：約100点（予定）

●麻生菜穂美（あそう なほみ）氏 オリンピック関連 略歴

1991年～ 長野オリンピック招致手伝い

1994年～1998年 財団法人長野オリンピック冬季競技大会組織委員会（NAOC）勤務
事務総長直下でオリンピックのすべて（競技運営、宿泊輸送、情報システム、文化式典、聖火リレー、チケットティング、マーケティング、広報報道、渉外、通訳翻訳など）に携わる。

※最終肩書は組織委員会本部調整班 事務次長補佐

1997年7月～12月 国際オリンピック委員会（IOC）へ出向

日本側との調整役、各国との交渉、IOC調整委員会等会議の運営・調整、聖火の採火式運営などに携わる。

1998年～1999年 信濃毎日新聞社 勤務

長野オリンピック公式記録（日本語・英語・フランス語各1000ページにわたる記録書）編集に携わり、英語とフランス語の編集責任者として編纂。

1999年～2000年 長野オリンピック記念「長野マラソン」の立ち上げに関わる。

オリンピック記念品の寄贈にあたって

子どものアトピーと喘息から軽井沢に移住し長野オリンピックの招致を偶然にも手伝っていた時、1991年のバーミンガム IOC 総会で長野オリンピックが決定した。長野でボランティアでもしようかと考え長野市に移住。1994年に組織委員会で通訳翻訳の一般公募があり、世界中から多くの応募者があったが3名の合格者の一人となり組織委員会勤務がスタート。過去の公式記録報告書の翻訳や吉村県知事の通訳などをしながら広報を担当。多くのラジオ、テレビなどでの広報活動、世界中からの問い合わせなどを担当した。

そんな中で、過去の資料を調べるうちに、組織委員会の準備が順調に進んでいないもの、抜け落ちているものなどに気づき、その都度事務総長、事務次長などに提言。その頃から事務総長直下でオリンピックのすべて（競技運営、宿泊輸送、情報システム、文化式典、聖火リレー、チケットイング、マーケティング、広報報道、渉外など）に関わるようになった。国内外で行われるIOCとの会議にもほぼすべて出席、事務次長らの通訳を兼ねながら世界中で交渉の席に着いた。

長野オリンピックは様々な困難に見舞われていたが、特にCBSと1\$135円で契約した放映権料が1年後の1996年には1\$79円まで高騰。一時はオリンピック返上か、というところまで検討された。そんな中で、各国と交わっていた招致段階での財政的な約束を減額すべく、世界中に飛んで交渉する役割を担った。IOCの理事会が行われる場所にも飛んで、サマランチ会長や理事の方々に長野の財政難を理解して頂いた。厳しい業務ではあったが何とか役目を果たすことが出来た。

そんな中、男子滑降スタート地点問題など新たな問題が次々に発生。IOCとの調整役が必要とされ、組織委員会の職員（当時400名）の中から英語と少々フランス語が出来る私が選ばれ、97年にIOC職員として日本側との調整役として働く事となった。

時差もあり、IOCの仕事と長野との調整で寝る間も惜しんで働いた。その間もヨーロッパ各国に飛んで様々な交渉や長野オリンピックに関する記者会見などを行ったが、特に聖火の採火式についてはギリシャ側と何度も交渉を重ね、12月にオリンピアにて採火式を中心に運営し、聖火と一緒に日本に帰国した。

それから大会期間を含めて66日間、一日の睡眠時間平均は2時間ちょっとという過酷な日々を過ごしたが、為替も正常に戻り、長野オリンピックはジャンプ団体などの活躍もあって大成功に幕を閉じた。大会期間後半には爆弾予告もあり心身ともに疲弊したが何とか大役を終え、長野オリンピックは今も忘れられない思い出となっている。

今回展示頂く記念品は主に二種類ある。一つは私がIOC在職中にサマランチ会長から直接いただいたものや、IOC事務局長の許可を得て購入したものである。通常、国賓級のゲストがサマランチ会長を訪問した際に、会長が一つだけ記念に差し上げるもので、その多くを特別に購入させて頂いた。おそらく日本でこれだけIOCの記念品を持っているところはないと思う。もう一種類は私が組織委員会に在職中集めた品々であるが、非売品が多く希少なものが多い。

聖火のトーチを含めこの展示を見て、白石の子ども達に夢をもってもらうきっかけになれば幸いである。

ベラルーシ新体操ナショナルチーム事前合宿について

担当：市民経済部東京オリンピック・パラリンピック推進室

当市では柴田町・仙台大学と連携して「白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」を設立し、2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿招致活動を推進し、2017年6月にはベラルーシ体操協会と新体操ナショナルチームの事前合宿実施について協定を締結いたしました。

オリンピック開催となる本年は、本大会に向けた事前合宿として、7月26日(月)から8月2日(月)までの8日間にわたり、白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)にて「SAKURA CAMP 2021」を実施します。新型コロナウイルス感染症対策のため、事前に国の定める手引きの内容を網羅した「事前合宿受け入れマニュアル」を策定し、選手等の移動は専用車両による練習会場と宿泊施設に限定し、食事会場も専用会場とするなど、感染対策を十分に行ったうえで実施致します。

●ベラルーシ新体操ナショナルチーム事前合宿「SAKURA CAMP 2021」

2021年7月26日(月)～8月2日(月) (8日間) 13名参加(うち選手7名)

○歓迎受入式(感染対策のためWEBにて開催)

2021年7月27日(火) 16時

白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)、白石市役所、仙台大学、東京都立川市で開催

○限定公開練習会

2021年7月28日(水)・29日(木) 10時～11時20分(予定)

白石市・柴田町の小中学生・キューブ新体操教室・仙台大学新体操競技部による見学
白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ) 2階ギャラリー

※新型コロナウイルス感染防止のため、時間と参加者を限定して公開

※マスク公開は7月28日(水)のみ。感染対策を取り、チーム代表者による取材対応を予定しています。11時30分～12時(チームの都合により変更・中止となる場合あり)

●事後交流

2021年8月9日(月)～8月11日(水) (3日間) 13名参加(うち選手7名)

※期間中に凱旋報告会の実施予定。

※日程は相手国の都合やコロナウイルス感染状況により変更または中止となる場合があります。

●新体操競技日程と会場

8月6日(金) 個人総合予選 10:20～13:15, 14:50～17:45

8月7日(土) 団体総合予選 10:00～12:40 ・ 個人総合決勝 15:20～18:00

個人総合表彰式

8月8日(日) 団体総合決勝 11:00～12:55 ・ 団体総合表彰式

会場：有明体操競技場

SAKURA CAMP 2021
ベラルーシ新体操ナショナルチーム参加者名簿

	名前		読み(カナ)		性別
1	IRINA	LEPARSKAYA	イリーナ・レパルスカヤ	ヘッドコーチ	女
2	MARINA	LOBACH	マリナ・ロバチ	コーチ	女
3	TATIANA	NENASHEVA	タチアナ・ニナシエバ	コーチ	女
4	KATSIARYNA	BIALIAUSKAYA	カチェリーナ・ビアリアウスカヤ	コーチ	女
5	LARYSA	LUKYANENKO	ラリーサ・ルカネンコ	コーチ	女
6	BARYS	KRUK	バリーズ・クルーク	理学療法士	男
7	HANNA	HAIDUKEVICH	アンナ・ガイドウケヴィチ	団体	女
8	ANASTASIYA	RYBAKOVA	アナスターシャ・リバコワ	団体	女
9	ANASTASIYA	MALAKANAVA	アナスターシャ・マラカナバ	団体	女
10	KARYNA	YARMOLENKA	カリーナ・イエルモレンカ	団体	女
11	ARINA	TSITSILINA	アリーナ・チィチィリーナ	団体	女
12	ALINA	HARNASKO	アリーナ・ガルナシコ	個人	女
13	ANASTASIIA	SALOS	アナスターシャ・サロス	個人	女

参加者13名

白石市学校施設等安全点検講習会について

担当：教育委員会学校管理課

白石第一小学校で発生した死傷事故を受け、学校等における事故の再発防止を図るため、施設、構築物等の点検方法について適切かつ具体的な知識を身につけることを目的として、学校、幼稚園等の施設管理者や担当者を対象に講習会を下記のとおり実施いたします。

記

- 1 開催日時 令和3年7月15日（木）13時30分～16時15分
- 2 開催場所 白石第二小学校
(受付場所は、パブリック棟南側1階音楽室前です。)
- 3 講師
宮城県白石工業高等学校 建築科 教諭(科長) 萱沼 俊一 氏
教 諭 大野 勝 氏
教 諭 本橋 まり子 氏
実習助手 平塚 麻美 氏
- 4 対象者
小中学校管理職及び安全担当者（1校2名）、幼稚園長・保育園長・児童館長
または安全担当者（1園1名）
- 5 受講者数 40名（1グループ10名）

6 講習会の構成・内容

(1) スケジュール

13:00 受付開始（1階 音楽室前）

13:30 開会

開会のあいさつ

白石市長 山田 裕一

宮城県白石工業高等学校 校長 石岡 恒一 氏

13:45 講義（パワーポイント使用）

14:30 休憩・移動

14:40 フィールドワーク

15:20 グループ討議

15:50 発表・講評

16:10 閉会のあいさつ

白石市教育長 半沢 芳典

16:15 閉会

(2) 内容

学校施設、構築等の安全点検の際の着眼点について、講義、現場のフィールドワークによる実務、グループ討議をとおして具体的な安全点検の手法について確認する。

①講義：学校施設における事故防止の留意点について

②フィールドワーク：施設の管理・点検に関する実地講習（グループごと）

③グループ討議：意見交換、発表